

十勝川中流部市民協働会議_活動記録 (10)

「第10回 いい川・いい川づくりワークショップ in 九州」

今年で通算 20 回目を迎える いい川づくりワークショップ。今年の会場は九州の福岡大学でした。当団体からは藤堂事務局長が発表者として参戦し、グランプリとまではいきませんでした。準グランプリを見事受賞しました。

全国から 44 団体の参加があり、今回は特別参加として韓国の 3 団体 30 名も、韓国の“いい川づくり”について発表を行いました。

参加団体の発表内容を大きく分けると 5 つになり、当団体は 5 番めの内容で発表を行いました。

1. 調査・研究
2. 広報・啓発
3. 環境学習・体験活動
4. 川づくり実践・実現
- 5. 環境保全や回復の実践活動**

■ 日 時：平成 29 年 9 月 9 日 10 日（土日）

9 日 11:00~18:15、10 日 9:00~15:30

■ 参加者：44 団体（十勝川中流部市民協働会議 2 名）

■ 活動内容（1 日目）：全体発表、テーブル選考（9 グループに別れグループから 1 団体選出）

■ 活動内容（2 日目）：復活選考（選出されなかった中から 6 団体選出）、選出された合計 15 団体の発表、2 次選考（7 団体選出）、最終選考（参加者全員からの推薦も考慮し、グランプリ×1・準グランプリ×2 の団体を選出）

■ 場 所：福岡大学 A 棟



久留米市（滞在場所、会場まで 1 時間ほど）



福岡大学 A 棟

活動内容 1 日目. 全体発表、テーブル選考

- ・全体説明の終了後、44 団体それぞれが、3 分間の短い時間でスピーチして活動内容をアピールしました。午後からは 9 グループに別れ質疑応答の後、選考員により 1 団体を選出しました



事務局長、選考委員などによる WS の説明



選考委員長の吉村氏（よこはま川を考える会）



全体発表 藤堂事務局長による 3 分間スピーチ



テーブル選考 選考員による説明



テーブル選考での 3 分間スピーチ

活動内容 1 日目. 全体発表、テーブル選考

・テーブル選考でグループ選出した団体の発表と、テーブルコーディネーターによる選考内容の説明のあと、福岡県県土整備部河川課より7月の九州北部豪雨についての説明がありました。第1日目の選考が終わり、懇親会では明日へ向けて名刺交換やの団体アピールが行われました。



テーブル選考で選ばれた9団体の発表



コーディネータ北井氏による選考理由説明



今回の大雨による、砂防・ダムの流木状況 福岡県県土整備部 畑田氏



懇親会の様子 (団体をアピール)



余興(木遣り)天竜川ゆめ会議 橋爪氏

活動内容 2 日目. 復活選考、2 次選考、最終選考、

・復活選考により 6 団体が選考され合計 15 団体による選考が始まり 3 分間スピーチの後、2 次選考で上位 7 団体に絞られ、最終選考では会場の全参加者からの意見（推薦）も考慮し、上位 3 団体が選出されグランプリ、準グランプリが決まりました。



藤堂事務局長による熱のこもった 3 分間スピーチ



4 名の選考員による 2 次選考



2 次選考により上位 7 団体選出

活動内容 2 日目. 復活選考、2 次選考、最終選考、



2 次選考員とは別の 4 名による最終選考



選考員によるコメント 百武氏 広島大学



会場の意見も参考にして上位 3 団体決定



準グランプリの受賞



準グランプリの表彰状